

# 滝上の人

滝上の魅力を発信

今回は、(一社)滝上町観光協会事務局長をされている  
旭町 島山 尊行 さん

旭山さんは、昭和47年生まれ、現在49才です。出身は芦別市とのことでしたが親が転勤族だったため道内各地を転々としていたそうです。中学



旭町 島山 尊行 さん

2年生の時には紋別市に高校を卒業するまで住んでいたことも。元々、旅行や観光に興味を持っていただけで、その道の専門学校を卒業後、ホテルや商業施設に勤めていたところ、滝上町観光協会が求人をしているのを知り平成21年に転入されました。

滝上町に住むことになるまで町のことは知っていませんでしたか？との問いには、紋別市に住んでいたときに時期が合えば芝ざくらまつりに1・2回行ったことがあるくらいで、溪谷があることすら、知らなかったと答えてくれました。

観光協会での最初のミツシヨンは『体験観光』の遂行でした。それは大変だったことだろうと詳しく話を聞いてみると「当時の役場観光担当の職員がある程度のプログラムを実施していたため、私ほそれを整理して、町の外に情報を発信して拡げる支援をしただけです」と答えてくれました。また、体験観光を充実するためには地元住民の協力が不可欠。島山さんは次の課題として、観光に携わる人材の育成に携わることとなります。

そこで平成22年に開催した『たきのうえ地元学』。これは体験観光に向けてのタウンガイドや情報発信に役立てていこうと観光協会が立ち上げたものです。第1回目には町内外から30名を超える参加があり、その後も継続して開催。延べ100名以上の参加者となつたそうです。ここでは、自分の生まれ育ったまちを見つめ直し、再認識することからまちの財産を発掘しようとする参加者から何を学びたいかを紙に書いて出してもらおうワークショップが行われ、錦仙峡の自然や森林鉄道の橋脚(きょうきやく)跡などのガイドツアーに繋がるものとなります。

島山さんは「新しいものを作るのではなく、まちにある資源や人材を活かしていきたい」と言われていたのが印象に残っています。

年々参加者が多くなっている「秋！歩こう!!錦仙峡」について伺うと、島山さんの前任の事務局長から各地のウォーキング団体に声をかけていくことの提案があったこと、また、芝ざくらシーズン外の観光についてもどのような強化

していったら良いかの課題があったことから、旭川市への広告やウォーキングのバスツアーなどを実施することになりました。以前、島山さんは企画会社に勤めていたこともあり、どのようなことを進めたら良いかのノウハウがあったことが強みとなり、毎年参加するリピーターが来るなど現在の形となりました。また、町外の団体に声をかけることだけではなく、こちらから町外のウォーキングイベントにも参加することで、情報交換や新たな観光交流が生まれることとなります。

昨年からのコロナ禍にも今勢いがあるハッカのツアーをオンラインで開催することし、インターネットでハッカ商品をPRすることも出来て評判が良かったと答えていただきました。

今後は、体験ツアーで農業のほか、滝上の基幹産業のひとつとなる林業にも『体験観光』と『産業観光』を広げていきたいと語りました。

この先も、滝上町の魅力を発信し続けていただきたいと思います。